



ソリューションガイド

現場に、管理に、経営に。 TRASASで、幅広い課題に響くソリューションを。

ますます高まる安全への要求や、さらなる効率の追求。

作業の現場や管理に大きな変化が求められています。

KTCが提案するのは、作業者の経験や勘に頼っていた曖昧でムダの多い作業からの脱却です。

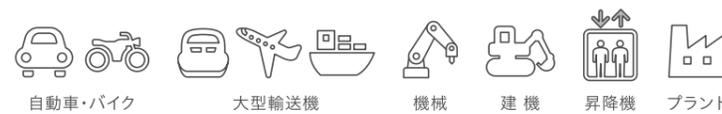
工具・計測機器とIoT技術の融合によって、作業データの正確かつ効率的な記録・管理・分析をサポート。

最終製品の使用者の安心や、現場作業者の安全、作業品質と顧客満足度の向上を実現します。

「TRASAS 次世代作業トレーサビリティシステム」が提供するものは、この変化の時代を生き抜くソリューションです。



さまざまな業界で導入が進んでいます。



“いま”求められる安全を、考えているKTCだからできること。

経営貢献	利益向上・コスト削減
顧客貢献	顧客への提供価値向上
社内の生産性向上	業務プロセスの改善
技術力・組織力向上	社員の学習と成長

CASE
01

ねじの締結不具合による重大事故が多発している

ねじの緩み、締めすぎは目視で確認することができず、作業者の勘や経験に頼りがちです。しかし、正しいトルク値で締結しなければ、安全の保証は困難です。

正確な作業実施のサポート



CASE
02

機械式トルクレンチでは、締付トルク値が作業者の技能・経験や工具の性能に左右されるため、正確な作業エビデンスを残せていないことがある

顧客からの問い合わせや記録提出要望があった際、作業のエビデンスがなければ、最悪の場合、訴訟問題に発展することも考えられます。

測定データを自動記録。正確なエビデンス管理



CASE 03

生産・保守点検に時間がかかっている

手書きによる資料作成、進捗確認など、日常業務のいたるところに、まだまだムダ・ムリが。売上機会の損失や、顧客満足度低下につながってしまう可能性も否定できません。

作業結果計測値の自動記録・即時点入力により作業時間を大幅短縮



CASE 05

記録作業・管理にかかるコストが削減できない

手書きの記録簿・チェックシートでは、人による入力作業が発生するため、人件費が余分に発生します。また、記録簿の取り回しの手間や、保管場所やファイリングのコストなど、運用面にもムダが。クレーム防止に記録管理は必須となるため、避けて通れない問題です。

自動記録による作業コスト大幅削減



CASE 04

複数名による確認作業や、複数回の抜き取り検査が大きな負担になっている

顧客からのダブルチェック要望や、抜き取り検査・記録など、作業現場が取り組むべき対策は増加するばかり……。

作業記録・管理の大幅な効率化



CASE 06

せっかくの記録データを有効活用できていない

顧客別、機種別メンテナンス記録や、工程別、作業別記録など、分析すべきデータがたくさんあっても、情報としての精査や分析には時間がかかり、有効活用には高いハードルが。また、突発事象に対する改善策・防止策の検討にも困難がつかまとうのが現状です。

分析系システムとの連携

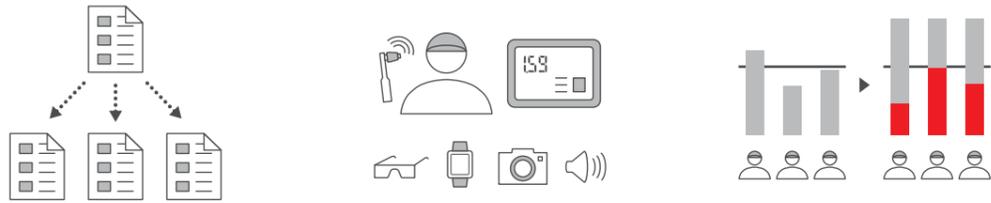


CASE 07

作業手順書はあるものの、情報の一元管理が実現できておらず、正しい運用ができていない

現場判断や作業条件の変更などによって、顧客ごとの個別手順や標準作業手順に変更が発生しても、すべての現場への周知徹底には手間がかかります。また、万が一、最新かつ正確でない手順で作業を行うと、顧客からの信頼低下を招き、最悪の場合、取引停止につながることも……。

手順書の一元管理・現場参照をスムーズに



- 安全・安心: 作業手順書のマスター管理によって、改訂を即時共有
見える化: 写真や動画などを用いた豊かな表現が可能
スキル: 正しい手順の徹底で現場全体の作業品質の安定化

CASE 09

作業トレーサビリティに取り組みたいが、できていない。もしくは、うまくプロセスに取り込めていない

作業トレーサビリティに取り組む際、どんな情報が必要なのかなどの判断が困難。顧客からトレーサビリティ管理を強く要求されるケースも増えています。

KTCが提案する導入サポートプログラム



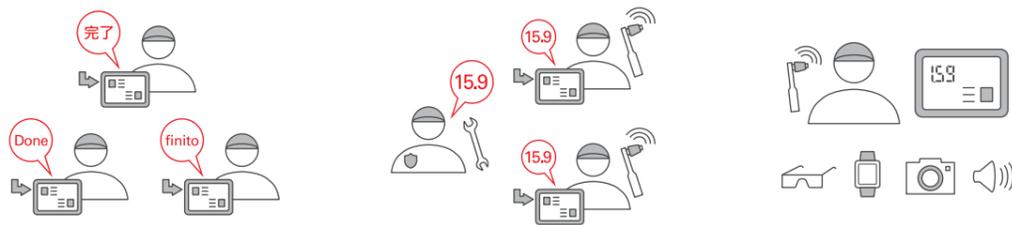
- 見える化: お客様の工場、現場の悩みをヒアリング
見える化: 現場の作業効率化や作業ミス撲滅に最適なプロセスを設計し、提案
つながる: 効率化と生産管理の両立に役立つ豊富な機能

CASE 08

言語や年齢、性別など作業者の多様性が品質の安定や技能伝承を困難にしている

作業現場の年齢構成がアンバランスになれば、作業者のスキルに差が発生します。また、少子高齢化による労働者の減少に伴い、国籍や体格、性別など、多様な作業者を受け入れるため、品質面や作業スピードにバラつきが生じてしまいます。

正しい作業手順の共有と作業の平準化



- 見える化: 生産準備ノウハウを示した手順書で作業者のスキルに依存しない作業を実現
スキル: 熟練作業者の「勘・コツ」を数値化することで技能伝承をスムーズ化
スキル: 現場作業をサポートするスマートデバイスの採用により、作業者の技能に左右されない品質を確保

CASE 10

データ改ざんリスクをなくしたい

手書きの記録・チェックシートでしっかり作業エビデンスを残していても、品質に疑いをかけられることも……。自信と誠意をもって記録を管理し、「記録の信頼度」で会社や従業員を確実に守りたいという要望が増えています。

データ改ざんが不可能な仕組みづくり



- 安全・安心: 作業結果を自動で収集・保存し、入力値の記入ミスや記録忘れなどのミスを撲滅
見える化: 作業日時や場所などの環境情報も併せて記録し、信頼度を向上
安全・安心: データ変更履歴も保存するので、改ざんや品質偽装が不可能なことをしっかり証明

TRASASの詳細はこちら

ktc.jp/trasas

KTCトレサス

検索



KTC 京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

お客様窓口 T 0774 46 4159 E-mail: support@kyototool.co.jp 電話での受付時間は午前9:00~12:00、午後1:00~5:00まで(土日祝日および弊社休業日を除く)

KTC、**KTC** ロゴ、ネブロスおよび **neqros** ロゴは京都機械工具株式会社の登録商標です。仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

No. 70-36 2020.02.01(SIC)